



学校教育目標:夢と希望をもち、未来に向かって心豊かに育ち合う子どもの育成

【めざす学校の姿】

- ◆誰もが安心して過ごすことができる学校
- ◆保護者・地域から愛され信頼される学校

【めざす子どもの姿】

- ◆互いに認め合い、支え合う子
- ◆粘り強く、最後までやり抜く子
- ◆友だちの思いを考えられる子

【めざす教師の姿】

- ◆一人も取り残さない教師集団
- ◆子どもとともに学び続ける教師
- ◆子どもに寄り添いともに歩む教師

【校訓:本気に 元気に 根気よく】

子どもにつけたい力(「生きる力」・「共に生きる力」を育むために)

I 確かな学力の定着

- ① 基礎・基本的な「知識」「技能」の定着
- ② 主体的に学習に取り組もうとする意欲と態度の育成
- ③ 課題を解決するために必要な「思考力」「判断力」「表現力」の育成
- ④ リーダーシップ・チーム力の育成
- ⑤ ICT を活用した情報活用能力とプログラミング的思考の育成
- ⑥ 読解力・表現力の育成
- ⑦ 筋道を立てて説明できる論理的思考力の育成
- ⑧ 英語コミュニケーション力の育成

II 心とからだの健全な育成

- ① 人権教育・道徳教育による自分自身を見つめる機会の充実
- ② 多様性の尊重と他者との協働
- ③ メディアリテラシーの養成
- ④ 最後までやり遂げる粘り強さの育成
- ⑤ 本好きの子どもの育成
- ⑥ 生涯にわたって健康に生きるための体力・運動能力の育成
- ⑦ 運動に親しむ気持ちや運動習慣の基礎づくり
- ⑧ 健康教育・食育を通じた心と体の健康のための基本的な生活習慣の定着

III よりよい未来社会を創造する力の育成

- ① 夢や志をもち、自分なりの人生を作っていく力の育成
- ② 生活習慣や学習習慣の習得と定着
- ③ 豊かな人間関係を育むコミュニケーション能力の育成
- ④ ふるさと四日市市への理解・関心を深め、誇りと愛着心の育成
- ⑤ 「持続可能な社会」を創るため、自ら行動を起こす力の育成
- ⑥ 安全教育の推進による危険予測能力の向上
- ⑦ 現代的諸課題に対して自分なりの考えをもち、発信できる力の育成

子どもを支える学校づくり

IV 全ての子どもの能力を伸ばす教育の実現

- ① 一人ひとりの教育的ニーズを把握し誰もが安心して過ごせる教育の充実
- ② 日本語指導が必要な子どもへの指導の充実
- ③ 誰一人取り残さない教育の実現(不登校等も含む)
- ④ 早期発見、初期対応、支援の充実
- ⑤ 家庭との連携による「学び」の基礎づくり
- ⑥ 学校に関する情報の発信と学校評価の活用

V 学校教育力の向上

- ① 三錨コミュニティスクール、保幼小中の連携を核とした「地域とともに歩む学校」づくり
- ② 地域資源を活用した教育の推進と子どもたちが学んだことを地域への還元する機会の充実
- ③ 教職員の資質・能力の向上(教育 Adv.の活用、研修会への参加、講師招聘等)
- ④ 働きやすい職場環境の推進
- ⑤ 「チーム富洲原」による学校活動の充実

令和5年度 アクションプラン 25

I 確かな学力

- ① 効果的な少人数教育を行い、基礎学力の定着、学習規律の確立をめざします。
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行います。
- ③ 外部講師の招聘や先進校視察を通して、問題解決学習の授業づくりを積極的に取り入れます。
- ④ タブレット端末を活用した学習活動の充実と子どもたちの情報活用能力の育成をめざします。
- ⑤ 英語を使うための環境づくりと指導体制を確立し、外国語活動及び英語教育の充実を図ります。
- ⑥ 筋道を立てて説明できるようにさまざまな教科の中で説明したり、議論したりする時間を確保します。

II 心とからだの健全な育成

- ⑦ 道徳教育を通して、よりよく生きていくための資質・能力としての「道徳性」を育みます。
- ⑧ 人権教育を通して、自他を愛し、自分や友だちを大切にできる子どもたちの育成に努めます。
- ⑨ 粘り強さを育成するため、さまざまな行事や学級活動に取り組みます。
- ⑩ 読書環境を整えるとともに、読書習慣の形成を図ります。
- ⑪ 子どもが進んで運動に取り組むための授業づくりや環境整備に取り組みます。
- ⑫ 学校三師、学校保健委員会、栄養教諭、外部講師等と連携して、心と体の健康教育を推進します。

III よりよい未来社会を創造する力の育成

- ⑬ 人との出会いを通して、自分が進む方向を考える機会となるような授業を行います。
- ⑭ 危険予測能力の向上をめざし、さまざまな体験活動を生かした安全教育の充実を図ります。
- ⑮ お互いのことを知り合い、心地よいコミュニケーションが取れることを常に念頭に置いて取り組みます。
- ⑯ 地域と協働し、地域の資源(人、施設、祭り、工場等)をいかした授業に取り組みます。

IV 全ての子どもたちの能力を伸ばす教育の実現

- ⑰ 特別支援委員会を通して、一人ひとり個々の教育的ニーズに応じた支援の充実を努めます。
- ⑱ いじめ調査・QU調査、専門機関との連携等を実施し、安心して過ごせる学校・学級づくりに取り組みます。
- ⑲ 子ども一人ひとりをつかみ、子どもたちに寄り添える教師になれるよう努めます。
- ⑳ 学校だより、HPを通して、教育活動や子どもたちの様子を積極的に発信し、学校評価をいかします。
- ㉑ 保護者とも連携し、生活習慣、学習習慣の確立に努めます。

V 学校教育力の向上

- ㉒ 三錨コミュニティスクールを核として、地域・保護者と協働する学校づくりを進めます。
- ㉓ 学校支援ボランティアの参画(読み聞かせ、ミシン、水泳等)による教育活動の充実を図ります。
- ㉔ 教員一人ひとりが個々の目標が達成できるように教師の力量・資質の向上をめざします。
- ㉕ 働きやすい環境を整え、子どもと向き合う時間の確保に努めます。